



平成26年度実施学力等調査の結果について

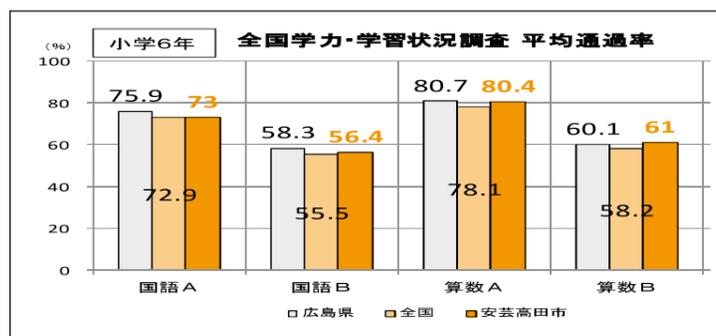
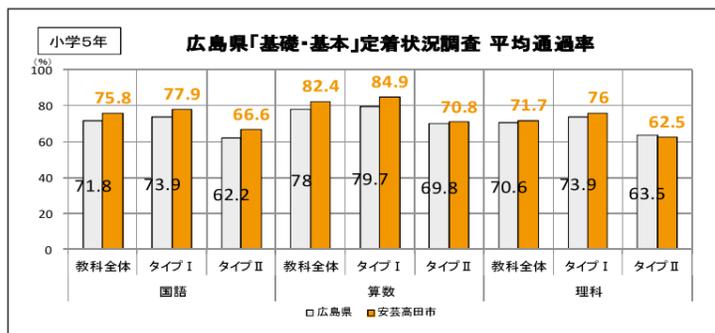
安芸高田市教育委員会

安芸高田市では、全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査を実施しました。その結果から、総合的に児童生徒は、基礎的・基本的な学習内容を概ね身に付けていますが、それを活用する問題（特に説明をする問題）において、小中学校ともに課題があることが分かりました。

各学校では、今回の調査結果をもとに、誤答分析を行い、指導方法等の改善計画を立て学力向上に向けた取組を進めています。安芸高田市では、引き続き、学習補助員等を配置するなど個に応じた指導の充実を図り、「わかる」授業づくりに努めていきます。

広島県「基礎・基本」定着状況調査 国語・算数・理科 6月10日実施

・国語、算数、理科のタイプIは、通過率が60%以上であり、基礎的・基本的な内容は概ね定着していると言えます。国語タイプIIでは、理由を挙げた記述、算数タイプIIでは、筋道立てて説明することに課題があります。理科は、領域によって定着状況に偏りが見られ、科学的な思考・表現に課題があります。

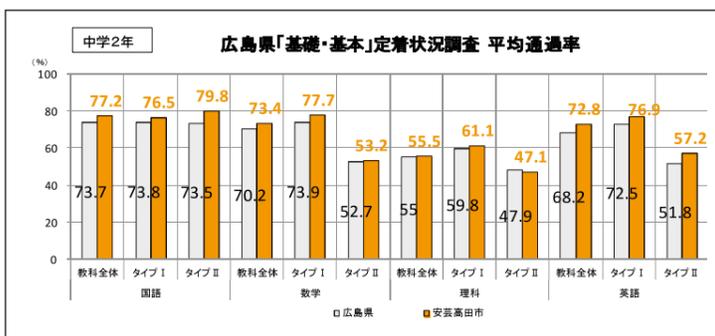


全国学力・学習状況調査 国語・算数 4月22日実施

・国語A、算数Aの通過率は、60%以上であり、基礎的・基本的な内容は概ね定着していると言えます。国語Bでは、必要な内容を関連付けながらまとめて書くことに課題があります。算数Bでは、答えを求める方法を記述したり、判断の理由を記述したりすることに課題があります。

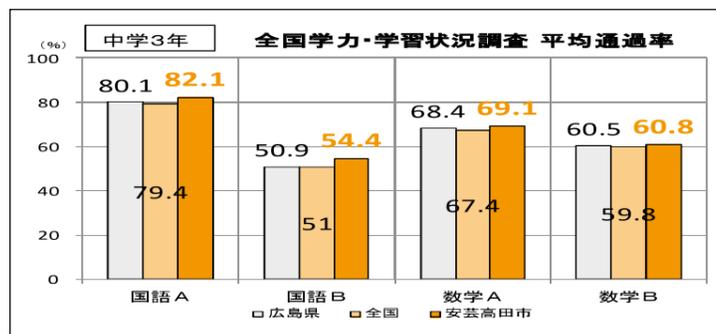
広島県「基礎・基本」定着状況調査 国語・数学・理科・英語 6月10日実施

・国語、数学、英語は、通過率が60%以上であり、基礎的・基本的な内容は概ね定着していると言えます。理科は、化学の領域において課題があり、特に、観察・実験の結果などを分析し、解釈することに課題があります。



全国学力・学習状況調査 国語・数学 4月22日実施

・国語A、数学Aの通過率は、60%以上であり、基礎的・基本的な内容は概ね定着していると言えます。国語Bでは、適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに課題があります。数学Bでは、問題を解決する方法を説明することに、課題があります。



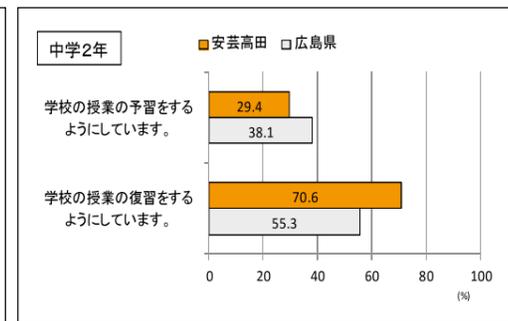
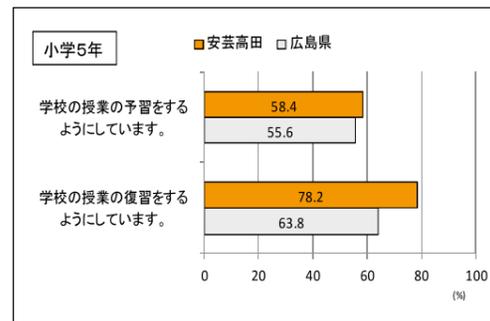
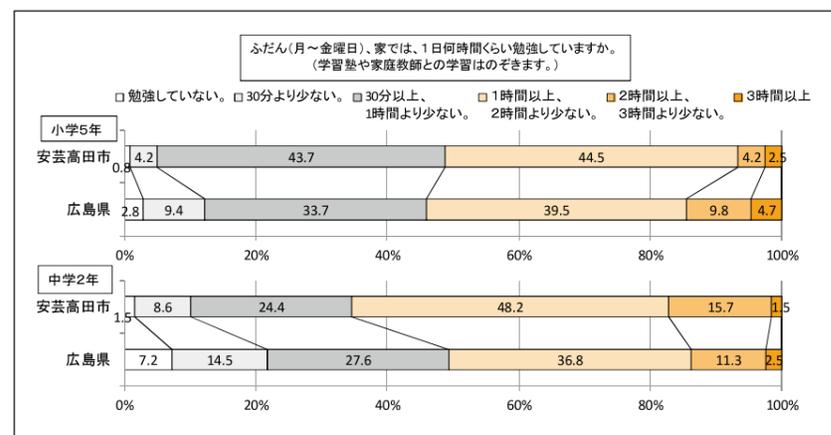
通過率とは…
正答（正しい答え）または準正答（完全な誤りではなく、正答として考えられる答え）であった児童生徒の割合

全国学力・学習状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。
・国語A、算数・数学A…主として知識に関する問題
・国語B、算数・数学B…主として活用に関する問題

広島県「基礎・基本」定着状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。
・タイプI…基礎的・基本的な内容
・タイプII…活用する力などに係る内容

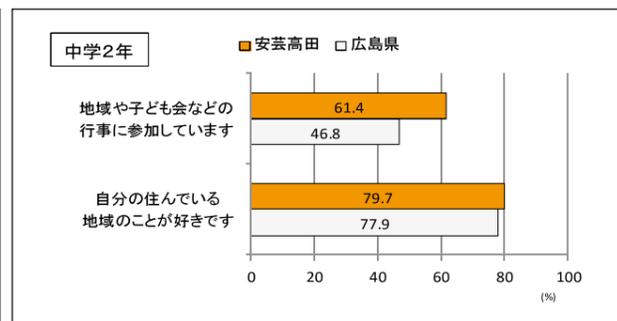
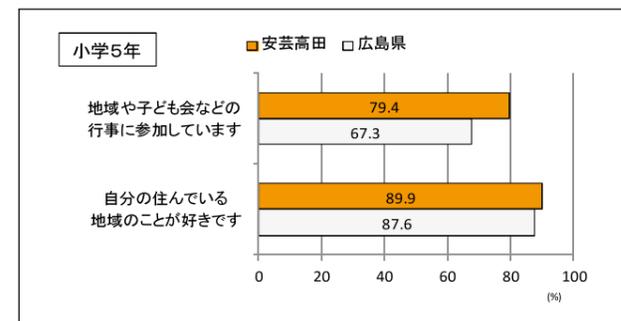
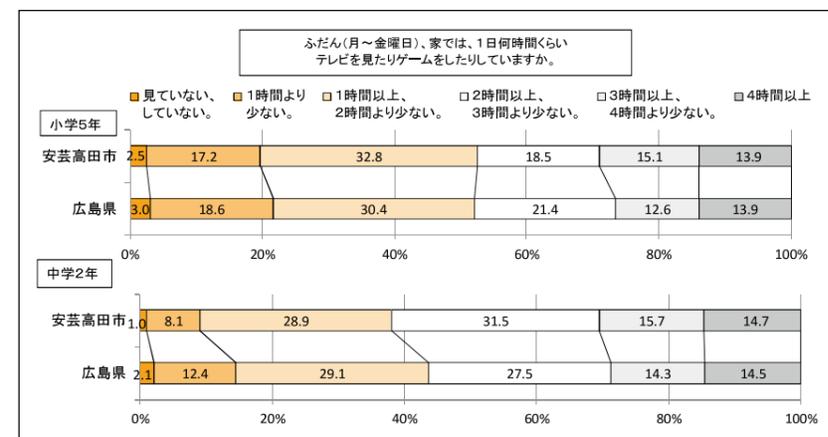
家庭学習の定着

右のグラフは、生活と学習に関する調査（広島県「基礎・基本」定着状況調査）から、家庭での学習時間について示したものです。1時間以上と回答した児童生徒の割合が、小学校は51.2%、中学校は65.4%でした。小学校は県平均を下回り、中学校は県平均を上回っています。また、学校の授業を復習する児童生徒の割合は、小学校、中学校とも広島県の平均よりも大きく上回っています。復習を中心に家庭学習を進めていることがわかります。通過率の高い児童生徒は、予習も復習も行っていると回答している割合が高いと報告されています。



生活習慣の確立

家庭での学習習慣を定着させ、学力を伸ばすためには、基本的な生活習慣の確立が不可欠です。これまで家庭と学校が協力して「ノーゲーム・ノーテレビデー」などに取り組んできましたが、平日に3時間以上テレビやゲームに向かう児童生徒の割合は、県平均に比べて高くなっています。就寝時刻、起床時刻、家庭学習を始める時刻を固定し、基本的な生活習慣を身につけることが大切です。



地域の教育力

「地域や子ども会などの行事に参加しています」「自分の住んでいる地域が好きです」の質問に対して肯定的に回答した児童生徒の割合が、県平均を上回っています。安芸高田市の児童生徒は、地域の教育力に支えられています。子供たちの健やかな成長のため、今後とも、引き続きご指導ご協力をお願いいたします。